

2024

# 春の星空情報

鹿児島市立科学館 宇宙劇場

月の形

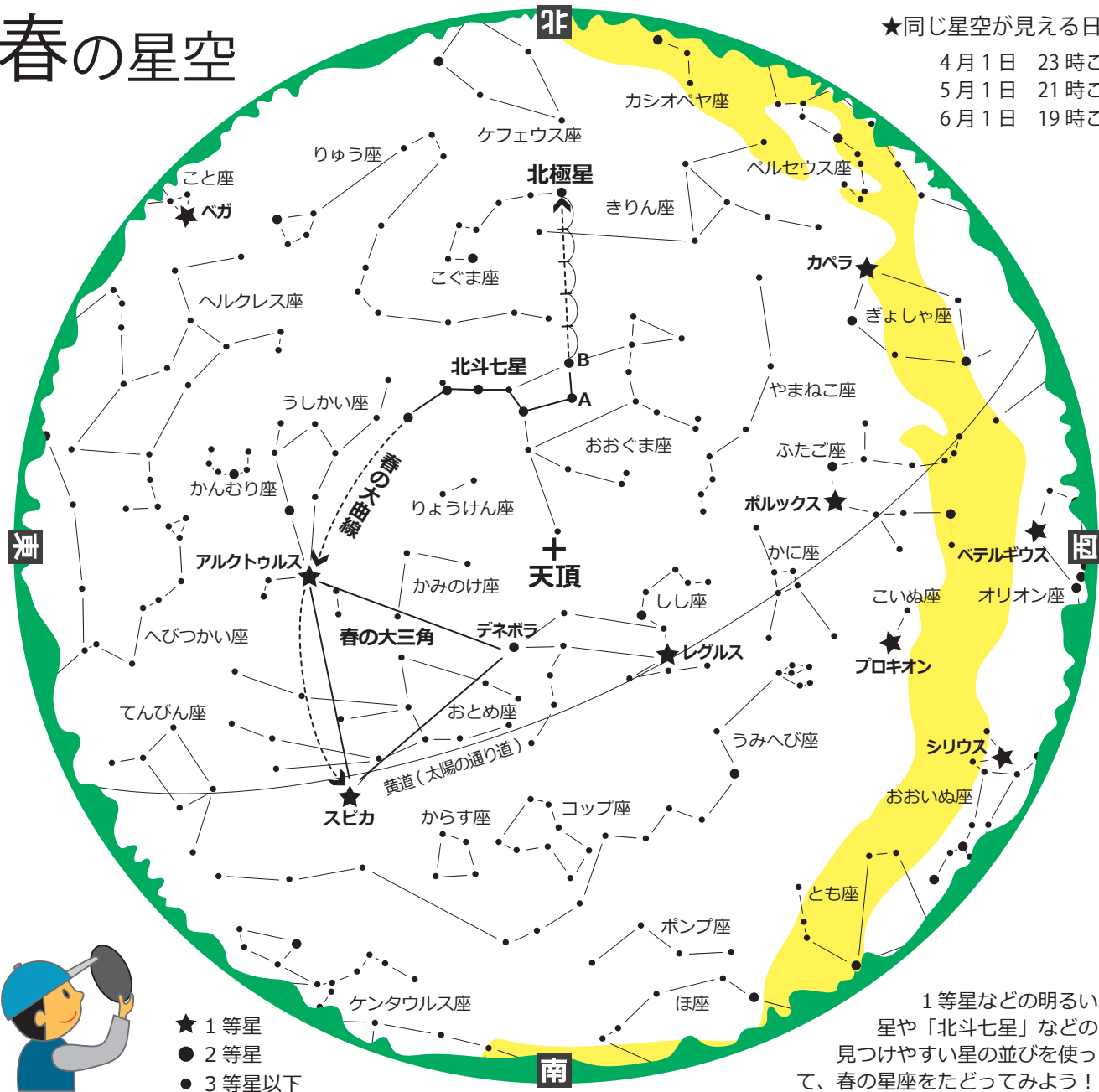
4月	●(下弦)	2日(火)	▶	●(新月)	9日(火)	▶	●(上弦)	16日(火)	▶	●(満月)	24日(水)
5月	●(下弦)	1日(水)	▶	●(新月)	8日(水)	▶	●(上弦)	15日(水)	▶	●(満月)	23日(木)
6月	●(新月)	6日(木)	▶	●(上弦)	14日(金)	▶	●(満月)	22日(土)	▶	●(下弦)	29日(土)

下の図は、春の季節に鹿児島市で見える星空を示したものです。円形の図の中央が、実際の空での頭の真上「天頂」にあたり、円の周囲が地平線になります。図の東西南北の方位と自分が立っている場所での方位を合わせ、図を頭上にかざすと、いろいろな星や星座を見つけることができます。

## 春の星空

★同じ星空が見える日時

4月1日	23時ごろ
5月1日	21時ごろ
6月1日	19時ごろ



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星以下

1等星などの明るい星や「北斗七星」などの見つけやすい星の並びを使って、春の星座をたどってみよう!

寒さが日に日に和らぐ春の季節、北の空の天頂付近ではフライパンをひっくり返したような7個の星の並びが目を行っています。おなじみの「北斗七星」です。同じくらい明るい星が独特の形で並ぶその姿はよく目立ちます。この「北斗七星」は見つけやすいだけでなく、「北極星」さがしや「春の大曲線」を使った星座さがしにも使うことができます。「北極星」をさがすには、上図のA→Bの長さを5倍にのばします。「春の大曲線」は、フライパンの取っ手の星たちを結び、そこから大きなカーブを描くようにのばします。これで、うしかい座のアルクトゥルスとおとめ座のスピカという2つの明るい1等星をたどることができます。

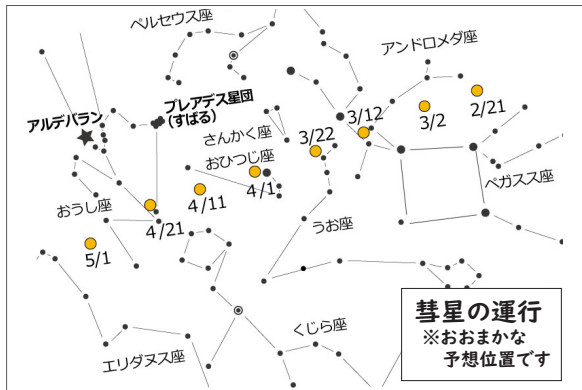
4月には周期彗星ポンス・ブルックスが71年ぶりに回帰し、肉眼でも観察しているのではないかと期待されています。また「4月こと座流星群」や「みずがめ座η(エータ)流星群」が見頃をむかえます。

晴れた日の夜には街明りの少ないところで、天体観測をお楽しみください。

## ★ 彗星が肉眼で見える!?～ポンス・ブルックス彗星～ ★

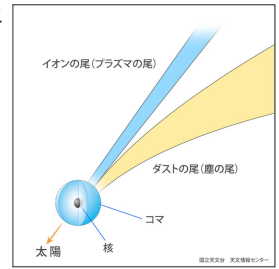
ポンス・ブルックス彗星(12P)は、2月下旬から4月にかけて夕方の西の空で4～5等級で観測できそうです。この彗星は1812年にフランスの天文学者ジャン＝レイ・ボンが発見し、1883年にウィリアム・ロバート・ブルックスによって発見された彗星です。

地球に近づくと長い時間ぼんやりとした光を放ち、ほうきのような長い尾を引く彗星は、その姿から「ほうき星」とも呼ばれています。



### 彗星ってどんな天体?

- ☆本体は直径が数kmから数十km
- ☆成分の約8割が氷で、二酸化炭素などのガスやチリが混ざった「凍った泥団子」のような天体
- ☆本体の周りの「コマ」と呼ばれる大気が輝く
- ☆太陽とは反対方向に黄色っぽいダスト(チリ)の尾と、青っぽいイオン(プラズマ)の尾が伸びる。



### 彗星はどこからやってくる?

太陽系の外側・太陽から数万天文単位※注付近を、球殻状に取り囲む氷微惑星の集まり(オールトの雲)や、氷微惑星が海王星軌道の外側にほぼ黄道面に沿った状態で分布している場所(エッジワース・カイパーベルト)からやってくると考えられています。

※注: 1天文単位: 太陽から地球までの距離(約1億5000万km)

## ★ 流れ星を楽しもう! ★



### 4/22 4月こと座流星群

### 5/6 みずがめ座η(エータ)流星群

4月22日の昼間に「4月こと座流星群」が活動のピーク(極大日)を迎えます。今年は満月に近い月があるため、観察するには少し厳しい条件です。

(出現期間: 4/15～4/25)

5月6日午前6時頃にピークを迎える「みずがめ座η流星群」は、月明かりの影響がほとんどなく、1時間に5～10個ほど観察できると予想されています。

(出現期間: 4/24～5/20)

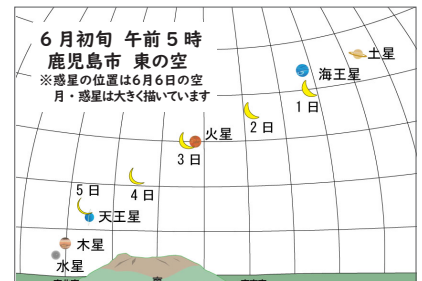
空全体を見渡せるように寝ころびながら観察しましょう。街明りの少ない場所がオススメです。



## ★ 月と惑星を楽しもう ★

6月初旬の日の出前、金星以外の6惑星と月が空に見られる珍しい現象が起こります。

天王星(5.8等)と海王星(7.9等)を観察するには望遠鏡が必要ですが、西方最大離角を過ぎた水星(-1.1等)と赤く輝く火星(1.0等)や、ひときわ明るく輝く木星(-2.0等)、土星(1.0等)の並びに、月が移動していく様子を楽しめます。



## ★ 北斗七星の「アルコル」を見つけよう ★

4～6月の20時頃、北北東から北の空高いところに、7つの星を繋いで作るフライパンのような形の「北斗七星」を見つける事ができます。北極星を見つける目印にもなる北斗七星には、昔視力検査に使われていた星があります。北斗七星のフライパンの柄の部分から2つ目の星「ミザール(2等星)」の隣に輝く「アルコル(4等星)」です。このように、2つの星がとても近くに見えるものを「二重星」といいます。目の良い人は見つける事ができるので、ぜひ観察してみてください。



## ★ 2024年4～6月 「おもな天文現象」 ★

### 4月 彗星を楽しもう

- 6日: 月と火星が接近
- 8日: 月と金星が接近
- 11日: 火星と土星が接近
- 月とプレアデス星団が接近
- 19日: 水星と金星が接近
- 22日: 4月こと座流星群が極大

※ポンス・ブルックス彗星については上記記事を参照

### 5月 流れ星を楽しもう

- 4日: 月と土星が接近
- 5日: 月と火星が接近
- 火星食(潜入12:11 出現13:19)
- 6日: 月と水星が接近
- みずがめ座η流星群が極大
- 8日: こと座η流星群が極大
- 10日: 水星が西方最大離角(日の出前、東の空で輝く)
- 23日: 金星と木星が接近
- 31日: 月と土星が接近



### 6月 月と惑星の接近を眺めよう

- 3日: 月と火星が接近
- 4日: 水星と木星が接近
- 10日: 月とプレセペ星団が接近
- 17日: 水星と金星が接近
- 20日: アンタレス食
- 21日: 夏至
- (北半球で1年で最も日照時間が長い)
- 27日: 6月うしかい座流星群が極大
- 28日: 月と土星が接近

参照: 国立天文台ホームページ アstroガイド星年鑑